

tam tam

2024.09
VOL.30

市民活動支援センター5年を振り返って



2019.11
「tam tam」創刊（以降隔月で発行）



紙飛行機大会、オセロ、書き初めなど、
気軽に来館してもらう
お楽しみ企画を実施
（以降、様々な形で実施）

市民プラザ開設前ワークショップ開催



来館者 10,000 人を達成



地域づくり講座
「オンラインでの会議・イベントのコツ」を開催
（以降不定期で開催）



「地域コミュニティ活動
推進員連絡会」



ラジオ番組
「ラジオ喫茶ここちか」放送開始

来館者 20,000 人を達成



地域支援者連絡会議

2019

2020

2021



2019.10
市民プラザ オープン

感染症緊急事態宣言により臨時休業
臨時休館中にスタッフが
Facebook で毎日投稿

自治協議会訪問 271 回
（開設から 1 年間）

パブリックコメントを書いて
みる「パブコメミーティング」
（以降、不定期で開催）

青垣地域が過疎地指定を受けたことに
合わせ「青垣地域のこれからを考える
ワークショップ」を支援



1周年記念イベント
「まちとわたじの大交流会」



より訪れやすい使いやすい場所になるため、
来館者とともにプレイスメイキング
「エントランス装飾づくり」「座布団カバーづくり」

市民活動支援センターの 5年を振り返る

2019年10月に丹波市市民プラザがオープンしました。市民の皆さんが気軽に立ち寄れるように、シヨッピングセンター「丹波ゆめタウン」に設置し、来館者延べ数で6.3万人（2024年8月末現在）を越えました。丹波市市民活動支援センターは市民プラザの中にあり、丹波市男女共同参画センター、水上子育て学習センターと併設されています。

今回は、市民活動支援センターの記録を振り返り、5年間の取り組みについて取り上げます。

「みんなでつくる・育てる・「こちやませ」を大切に

市民活動支援センターは、住み慣れたまちに住み続けられる暮らし、そして、地域のことは地域の人々で取り組む「地域自治」の実現に向けて、市民の皆さんが主体となった市民活動や地域づくり、生涯学習を総合的に支援する拠点です。

開設以来、「みんなでつくる・育てる・「こちやませ」という考え方を大事にしてきました。生涯学習の推進や地域課題の解決のためには、地域社会を構成する一人ひとりの個性や多様性が尊重され、市民が地域の担い手として力を発揮することが重要です。市民プラザにおいては、必要なものは利用者とともに、誰もが心地よく過ごせるように工夫してきました。

「みんなでつくる・育てる・「こちやませ」の考えが一番わかりやすく体现されているのが、「大交流会」です。開設1周年記念に開催してから、現在まで4回開催しました。内容は毎回変わりますが、実行委員会形式による準備や、各企画については出展者同士で調整する機会を設け、参加者自らが運営側にも関わられる仕組みを作っています。参加者や出展者が関わられる機会を増やす工夫をすることで、関わる人が「こちやませ」になるように仕掛けをしています。



▲大交流会を一緒に作った
実行委員や参加者

3つの拠点機能と相談内容を見てみる

センターでは、市民がセンターを利用するきっかけの1つとして、相談窓口を開いて、皆さんの声を聞いてきました。その相談のうち具体的な内容を記録した全267件を、センターの3つの役割・拠点機能の視点で分類しました。1つ目が、学んだ成果を実践へと展開する「知識循環型生涯学習推進の拠点」。2つ目が、多様な主体が連携し、協働の創出の場となる「市民活動連携の拠点」。そして3つ目が、市民がいきいきと暮らし続ける「地域づくり事業支援の拠点」です。

情報誌の5年間

第1号	オープン！「市民活動支援センター」
第2号	書き初め大会2020・3市連携まつり 互近所サミットを開催！
第3号	TAMBA地域づくり大学2020 開校式 開催「これからの行動宣言」
第4号	丹波市活躍市民補助金でまちづくり
第5号	新型コロナ調査から見る影響と活動
第6号	これからの時代の情報発信を考える
第7号	丹波市市民プラザ開設1周年を振り返る
第8号	「だけじゃない」男女共同参画
第9号	「ふれあい、遊び、学び舎」水上子育て学習センター 「帰っていいよ。」「帰るまじや」と 市民主体の地域づくり
第10号	今こそ、過疎を考える
第11号	ダイバーシティを地域づくりに
第12号	これからの「つながり」を作っていくために
第13号	市民活動・地域を良くする参加の力
第14号	団体運営の知識と技術
第15号	小さな集落のこれからを考える
第16号	地域づくりに必要な「社会教育」を見つめ直そう
第17号	小学校統合を機に考える、地域のこれから
第18号	地域を支える図書館の役割
第19号	「これま」と「これから」の3年
第20号	若者が関わりなくなる地域
第21号	市民活動団体の法人化、その実際とは
第22号	人と地域のつながりを深める学び合いの役割
第23号	ことをまんまにした地域づくり
第24号	住民自治にとっての人口減少を考える
第25号	リ・ニューアル
第26号	人が動き出すあそびの力
第27号	地域行事のこれから
第28号	学びを通じた人づくり
第29号	地域一体で取り組む防災に向けて
第30号	市民活動支援センター5年を振り返って

本誌は、開設当初から市民活動支援センター
情報誌 t a m t a m (たむたむ) として、隔

市民活動 地域課題にいち早く気づき取り組む

3つの中で市民活動に関する相談が最も多く、その内容は多岐に渡ります。市民活動団体、個人の方からICT活用、広報手段、組織づくり・法人化、連携先情報の照会など、具体的な取り組みの中で悩んでいることの相談が寄せられています。そのような相談を踏まえ、センターではチラシやポスターを設置・配架できるスペースを作り、市民活動団体の広報を支援しています。会議室利用においては、Wi-Fi環境があること、ショッピングセンターに併設され、集まりやすいといった利用者の声を聞いています。

地域づくり 地域ごとにより方を模索する

地域づくりについても、多くの相談があります。自治会や自治協議会のあり方や仕組みの見直しが必要と感じ、危機感が高まっているとも言えます。センターではより多くの方とコミュニケーションをとるため、積極的に地域へ出向いています。特に、地域づくりの拠点となっている自治協議会には、月平均26回、多い月は60回以上も訪問しています。

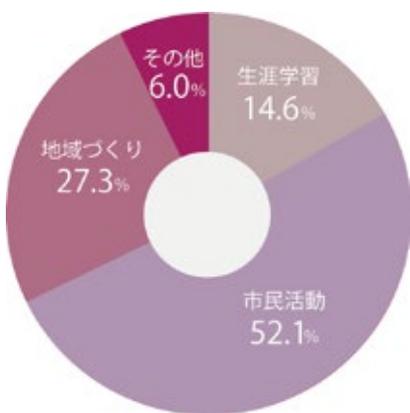
2022年からは、持続可能な住民自治の実現に向けて「地域の未来デザインプロジェクト（通称：ミライイン）」として、未来を見据えて地域のあり方について整理し見直す取り組みが始まりました。8月末現在では、7つの自治協議会が取り組んでおり、センターとして重点的に支援しています。

生涯学習 いつでも、どこでも、誰でも、誰でも

生涯学習に関する相談としては、学校や団体で行う学びの場の講師紹介、講座内容の相談が寄せられてい

ます。センターではそれら相談内容を参考に、地域づくり講座のテーマを決めるなど、地域活動や市民活動に役立つ学びの場づくりに注力しています。

センターでは、誰もが好きなことや趣味を生かして学びを楽しむことを目指して、「みんながセンセイ！みんなが生徒！たんばまなびのマルシェ」を実施しました。2024年1月に開催した第1回では15人のセンセイ、延べ92人の生徒が参加しました。今年12月に開催する第2回も9人のセンセイが準備を進めています。



▲内容別相談割合

※相談記録を元に今回の分析のため、3つの視点で分類した。

これからも相談をはじめ、様々な場面で皆さんの声を聞き、「みんながつくる・育てる・いっしょにまぜ」を大切にしながら、より良い施設を目指します。センターや情報誌 tamtam へのご意見をお聞かせください。

月で発行し、今号が30号となります。

毎号、時期や地域の状況、話題のバランスを見ながら特集を設定し、そのテーマについて読者の皆さんと一緒に考えてきました。ある意味で、この特集だけをピックアップしても、5年間を振り返ることができるかもしれません。開設して間もなく、新型コロナウイルス感染症の蔓延があり、行動の制限がある中でどのように活動を続けていくのか、もしくはこれをきっかけに見直しを進めるのか、地域のこと、学校や社会教育のこと、市民活動のことなど、それぞれの形で、本来の目的を見つめ直すこととなった5年間だったのではないのでしょうか。

また、特集のほかに、自治協議会の取り組みを紹介する「隣の自治協さん」や少し変わった視点で学びを提供する「丹波市民、学びの窓」、そして「繋ぐ市民活動」、「活動事業者紹介」を掲載してきました。全25自治協議会の紹介を終えるタイミングで、2024年より誌面をリニューアル。毎号1つのテーマに特化した情報誌として生まれ変わりました。





丹波市市民活動支援センター

TAMBA CITY CIVIL AND COMMUNITY ACTIVITIES CENTER

<https://www.tamba-plaza.jp/ccac/>

〒669-3467 兵庫県丹波市氷上町本郷300 丹波ゆめタウン2階 丹波市市民プラザ内

TEL 0795-82-8683 MAIL ccac@tamba-plaza.jp

開館時間 10:00 - 18:00(会議室は 21:30 まで) / 毎週月曜日・年末年始休館



周年記念イベント
「まちとわたしの大交流会 2022」



周年記念イベント
「知る! 出会う! つながる!」
まちとわたしの大交流会 2021」



地域課題の解決に向けた企業の連携協力を
目指すたんばローカルグッドネットワーク
「はまこころ」の発足(以降、定期的に会議を開催)



「みんながセンセイ! みんなが生徒!」
たんばまなびのマルシェ」



来館者55,555人達成



地域のあり方の充実・見直しに向けた
「〇〇地域の未来デザインプロジェクト」の始動

日々の様子やもやもやしていることを
テーマに「もやもや座談会」
(以降、不定期で開催)

2024.10 市民活動支援センター 開設 5 周年

2022

氷上中学校トライやる・
ウィーク受け入れ
(以降、毎年受け入れ)

市民プラザ指定管理者制度の開始



市民プラザ開設 3 周年を記念した
「開設から 3 年を振り返り、
これからの 3 年を話し合う会」

2023

第 75 回優良
公民館表彰を受賞

ラジオ番組を
リニューアル
「tamtam 情報局」



周年記念イベント
「まちとわたしの大交流会 2023」

2024

「自治協議会全体研修」

「丹波市市民プラザと市民活動を
よりよく・楽しくする市民会議」

「みんなの定例記者発表」



来館者33,333人達成



お願いポスト
- あなたの願いの全力応援プロジェクト -